

地域で、地域と共に学ぶことのできる多賀の学び舎

育成すべき資質・能力の先にある「Well-Being」

生徒が幸福で充実した人生を送るために必要な、心理的、認知的、社会的、身体的な動き（functioning）と潜在能力（capabilities）

「The OECD Learning Framework 2030」

「知」の拠点

誰もが年齢・学年を遡って学んだり、年齢・学年。世代を超えて学び合ったりする

「共生」の拠点

学校行事・地域行事等を通して、児童・生徒、保護者、地域住民が世代を超えてつながる

「防災」の拠点

学校・地域合同防災訓練等を通して、防災学習・防災拠点としての機能を果たす

「持続可能な社会の創り手」の育成

一人一人の児童・生徒が、自分のよさや可能性を認識することにも、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる

小中一貫校の使命 義務教育9年間の児童・生徒の発達・成長を見通して地域社会と共に歩む学校

育成をめざす人間像 社会や他者との約束を守り、必要に応じて助けを求め、社会の中で他者と助け合って生きていくことができる人

教育目標の3つの柱

- 知性**
 - (中) 高い知性を身に付け、心豊かな人
 - (小) よく学び考える子
- 公正**
 - (中) 公正な判断力を養い、責任ある行動のできる人
 - (小) 思いやりがありやりぬく子
- 貢献**
 - (中) 心身共に健康で、社会に役立つ人
 - (小) 明るく元気な子

※第二小、第四中既存の学校教育目標を組み合わせた

「共生社会の担い手」の育成

学校教育は、障害のある児童生徒の自立と社会参加を目指した取組を含め、「共生社会」の形成に向けた重要な役割を果たす

児童・生徒、教職員の「安全・安心」「人権」を守り、社会的自立の基礎を身に付けられる学校

児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに応える教育環境の整備・生活指導

特別支援教育

- 特別支援学級設置校（小・中）、特別支援教室拠点校（小）としての機能発揮
- 専門家としての各担当教員による教育的ニーズの把握と支援方法の改善
- 校内特別支援会議（校内委員会）
- 情報共有・支援方法の検討、専門家（SC、SSW）・関係機関との連携
- 合理的配慮
 - ・教育的ニーズに応じた適切な支援
 - ・交流及び共同学習
- 児童・生徒の教育的ニーズに応じた校内外の学習機会の柔軟な設定
- 都立特別支援学校との副籍交流
 - ・相互に地域の一員であることの認識形成
- 交流委員会
 - ・児童・生徒による交流活動の企画・運営

安全教育

- 非常変災等から守る
 - ・市（防災課等）、地域と連携して実施する学校・地域合同防災訓練
 - ・地震、火災、複数の不審者及び緊急時の引き渡し訓練
 - ・地域の地形的特色を理解した上での浅川の氾濫による水害を想定した避難訓練
- 生命（いのち）の安全教育
 - ・性教育と関連付けた性犯罪からの危機回避能力の育成
- 交通安全教育
 - ・自転車交通安全教室、ヘルメットの着用
 - ・八王子警察署との連携
- セーフティ教室・薬物乱用防止教室
 - ・児童・生徒の危機回避能力を高めるための専門家や関係機関との連携

いじめの防止等 （未然防止・早期発見・早期対応）

- 法、基本的な方針等に則った対応
- ・学校いじめ基本方針の策定・改訂、年3回のいじめアンケート、校内研修の実施
- ・週1回、SCが出席する学校いじめ対策会議、情報共有・記録・対応検討のための「いじめ対応の時間」の実施
- ・児童・生徒の状況把握を目的としたよりよい学校生活に関するアンケート調査「QU」の活用
- ・出欠状況把握のための「個票システム」の活用による未然防止・早期発見と対応
- ・「いのちの大切さを共に考える日」「SOSの出し方に関する教育」の実施
- ・保護者と子どもを見守りつながら「子ども見守りシート」の活用
- ・小4年以上対象のSCによる全員面談

登校支援（不登校対策）

- 不登校対応巡回拠点校（中）としての機能発揮
- ・不登校対応巡回教員による登校支援体制の構築と運用、有効な対応事例の収集
- 学校運営協議会と共同運営する校内教育支援センター「多賀」の運用
 - ・「多賀」担当教職員のアウトリーチによる多様な形態での登校支援
- 地域の居場所の拡大
 - ・地域行事への参加
 - ・はっちこキッチン、中央図書館等の公共施設、フリースクール等の民間施設等
- 居場所としての選択肢の一つである仮想空間「VLP」の活用
- SSW、関係機関、民生委員・児童委員等の地域の関係者との連携強化

義務教育9年間を見通した教育課程の編成・実施・評価・改善のサイクルの構築

各教科等

- 義務教育修了段階における知識・技能の保障・定着
 - ・はちおうじっ子ミニマムをはじめとする各学力等調査・ドリル型学習コンテンツの活用による補習・補充の充実
- 心身の健康を維持向上するための体力向上、食育の充実
- 5・6学年からの教科担任制の実施
 - ・算数・理科（部加配）算数（市加配）
- 持続可能な社会の創り手であるグローバル人材の育成をめざし、地域で、地域と共に探究する総合的な学習の時間
- ICT活用技能の向上による質の高い学びの実現
- ALT（外国語指導助手）、地域ボランティアとの英語によるコミュニケーションの機会を有効に活用した英語教育の充実

道徳教育

- 道徳教育全体計画・年間指導計画、別業に基づく道徳教育の充実
- 重点内容項目
 - 「親切・思いやり」
- 地域・保護者と育成をめざす児童・生徒像の共通理解を回すための道徳授業地区公開講座
- 人権侵害であるいじめから子どもたちの命を守るための「いのちの大切さを共に考える日」における校長講話、「生命尊重」の道徳授業一斉実施

キャリア教育

- キャリア形成を見つめる「たがの杜のキャリア教育」
- 地域行事への参加を含めた活動を記録して振り返り、次のチャレンジに向けた「はちおうじっ子キャリアパスポート」の活用
- 学年や校内外（地域、自然、文化）を超えて、他者や集団と関わり合い学び合いながら日常の学びを深める学校行事
- 9年生をリーダー、6年生を副リーダーとして9学年の児童・生徒で編成する縦割り班による異年齢交流活動
- よりよい学校生活に向け、自分たちのアイデアを実現することのできる児童・生徒会活動、学級活動
- 地域での学びがにつながる係幼小連携、上級学校訪問等
- 町会等の地域行事への参加

その他

- 「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けた授業改善
- 「学力定着プロジェクトチーム」による各学力等調査の結果分析を踏まえた支援計画の立案・実施
- ICT、生成AIを活用した校務改善
- 第二小・第四中2020レガシーの継続実施
- 部活動改革の推進